

平成27年度
人口減少対策のためのアンケート調査結果報告書

平成27年9月
寒川町

目次

第Ⅰ部 人口減少対策のためのアンケート調査	1
第1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象・抽出方法	1
(3) 調査内容	1
(4) 調査方法、調査期間	1
(5) 回収結果	1
(5) 留意点	1
第2 回答者の属性	2
第3 調査結果	5
(1) 居住年数	5
(2) 転入前の居住地域	6
(3) 寒川町に転入したきっかけ	7
(4) 転入の際の他の検討市区町村	8
(5) 転居先を決める際に考慮する、重要な環境	9
(6) 寒川町の町にこれからも住みつづけたいと思うか	10
(7) 転出の際の検討市区町村	11
(8) 転出の理由	12
(9) 現在、結婚しているか	13
(10) 結婚に関する考え	14
(11) 何歳ぐらいまでに結婚したいか	15
(12) 現在結婚していない理由	16
(13) 現在の子どもの数、今後の子どもの予定数、理想的な子どもの数	17
(14) もっと子どもが欲しい理由	19
(15) 出生率が低下している主な要因	20
第4 自由意見のまとめ	21
第Ⅱ部 窓口アンケート調査	24
第1 調査の概要	24
(1) 調査の目的	24
(2) 調査対象・抽出方法	24
(3) 調査内容	24
(4) 調査方法、調査期間	24
(5) 回収結果	24
(5) 留意点	24
第2 調査結果	25
1. 転入者向けアンケート概要	25
2. 転出者向けアンケート概要	29

第 I 部 人口減少対策のためのアンケート調査

第 I 部 人口減少対策のためのアンケート調査

第 1 調査の概要

(1) 調査の目的

住民の結婚や子育て等に関する意識やニーズを的確に把握することで、まちづくりに関する課題を把握し、寒川町の将来展望につなげることを目的としています。

(2) 調査対象・抽出方法

調査対象：寒川町に居住する町民 2,000 名を比較的若い年齢の方を中心に無作為抽出し、調査対象としました。

(3) 調査内容

「寒川町の居住意向」、「結婚・子育てに対する考え方」に関する調査を実施しました。

(4) 調査方法、調査期間

- ① 調査方法：町民アンケートを郵送により配布、回収
- ② 調査期間：平成 27 年 6 月下旬～7 月中旬

(5) 回収結果

回収件数：552 件（回収率 27.6%）

抽出数 (a)	有効回答数 (b)	有効回答率 (b/a)
2,000 件	552 件	27.6%

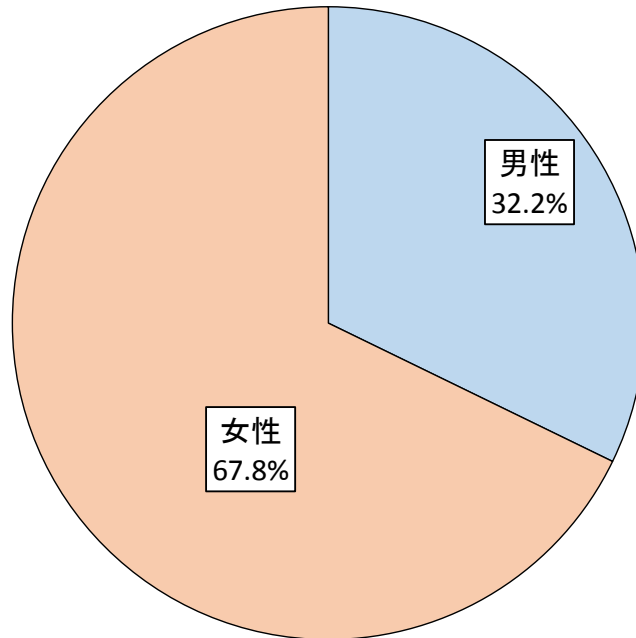
(5) 留意点

- ① 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第 2 位を四捨五入したため、比率の合計が 100%と一致しない場合があります。
- ② 複数回答可の質問の百分率の合計は、100%を超えます。
- ③ 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- ④ 各質問のサンプル数は「n＝」で表しています。

第2 回答者の属性

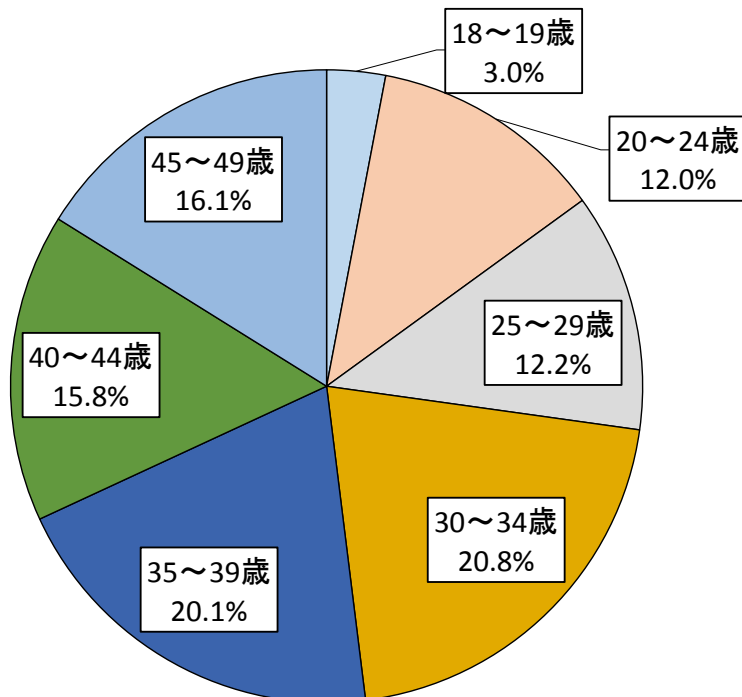
ア. 性別

性別でみると、女性が67.8%で、約7割を占めています。



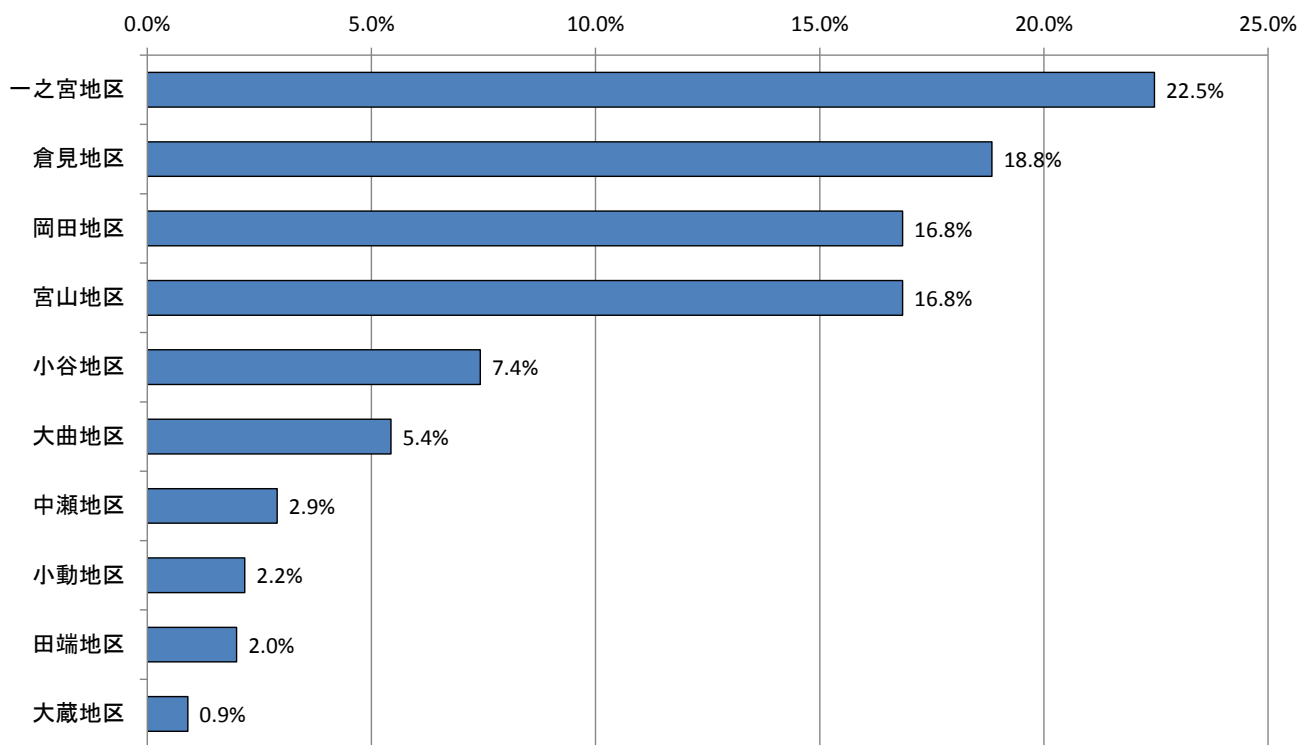
イ. 年齢

年齢でみると、「30～34歳」が20.8%で最も多く、次いで「35～39歳」が20.1%となっています。概ねバランスよく回答されています。



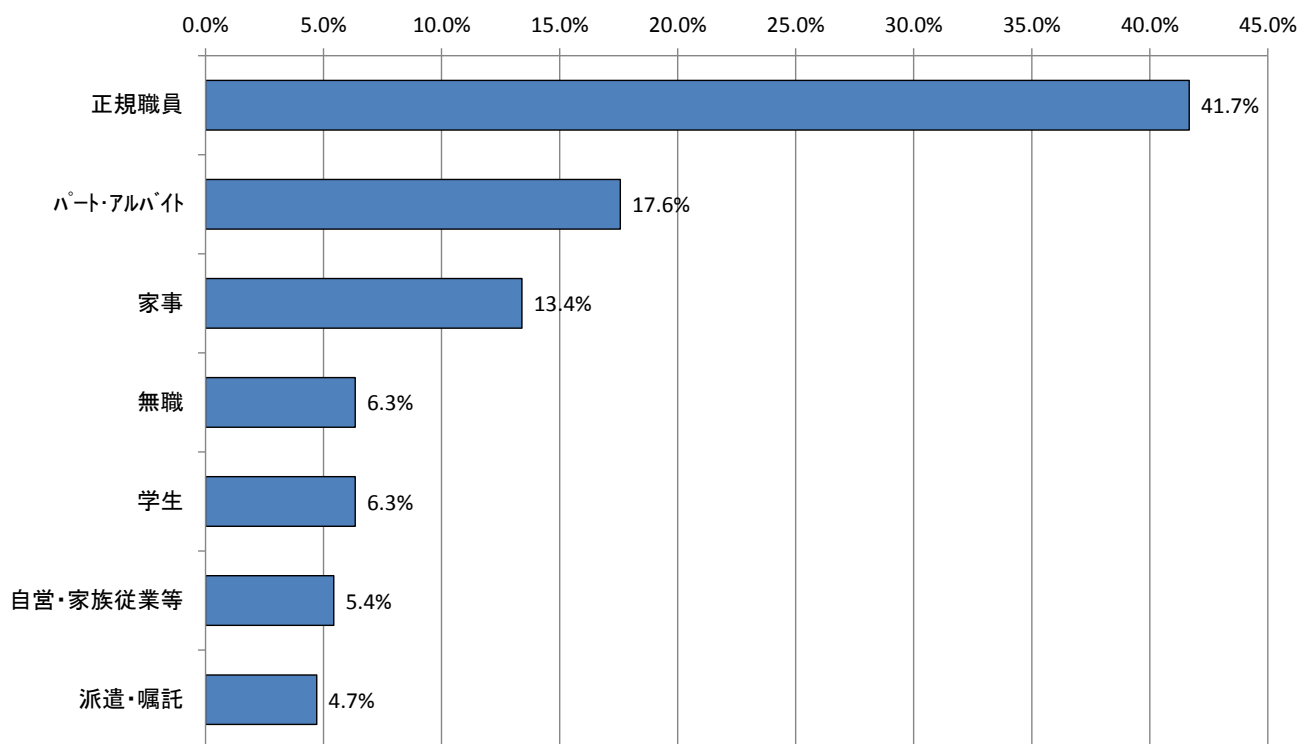
ウ. お住まいの地区

居住地区をみると、一之宮地区が22.5%と最も高く、次いで倉見地区が18.8%と続いています。



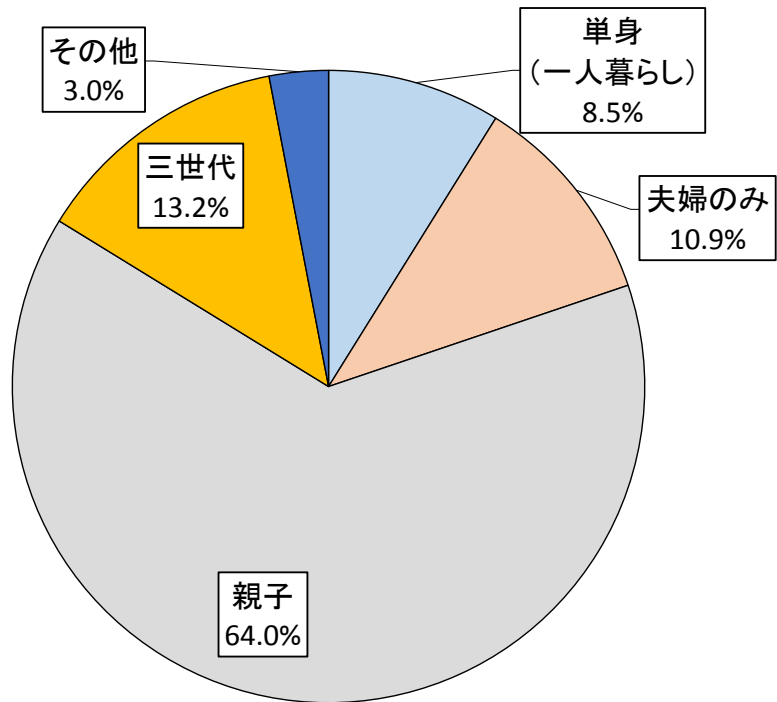
エ. 就業の状況

職業別にみると、正規職員が41.7%で最も高く、次いでパート・アルバイトが17.6%で続いています。



オ. 家族形態

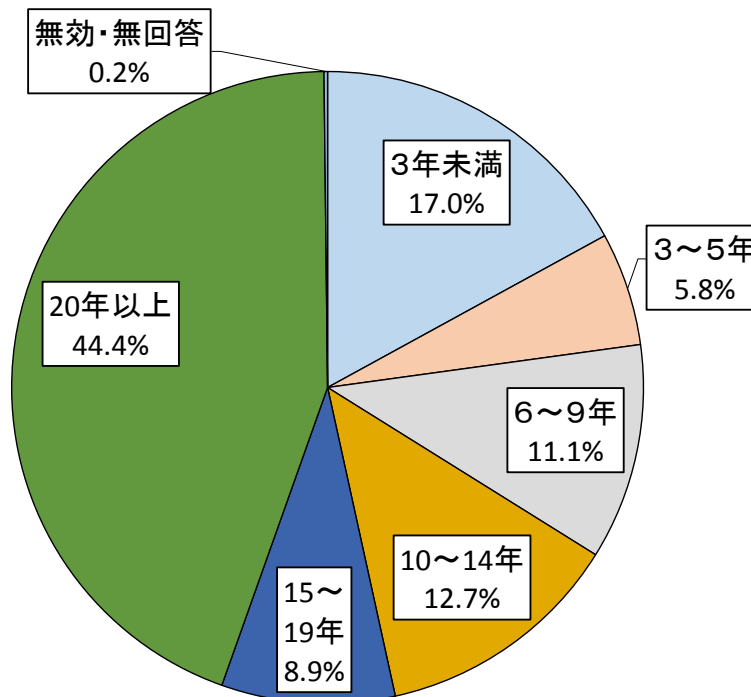
家族形態別にみると、「親子」が64.0%で最も高く、次いで「三世代」が13.2%と続いています。



第3 調査結果

(1) 居住年数

問1. あなたは、寒川町に住みはじめて何年になりますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

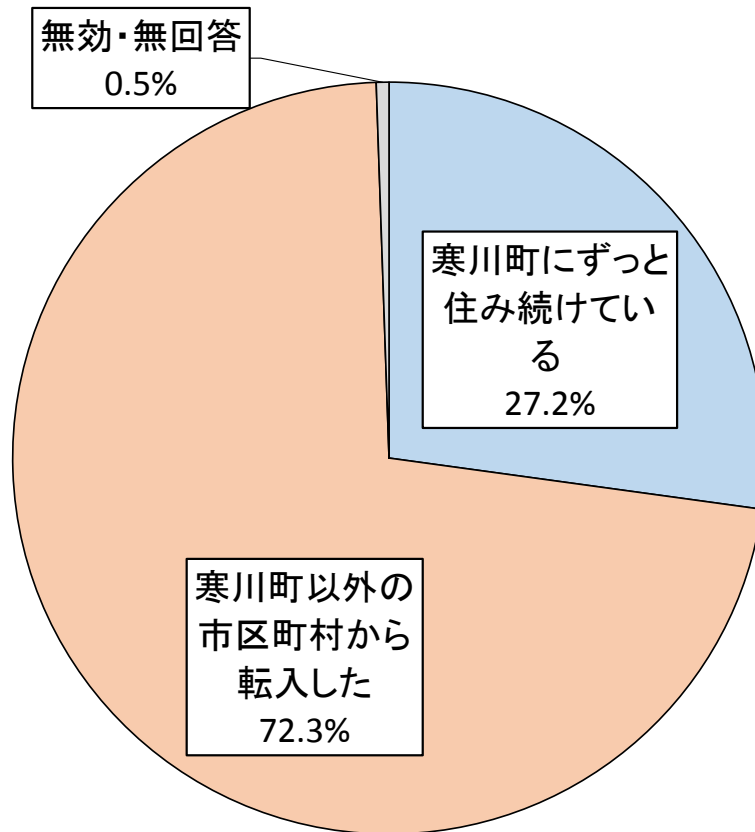


選択肢	回答数	割合
3年未満	94	17.0%
3～5年	32	5.8%
6～9年	61	11.1%
10～14年	70	12.7%
15～19年	49	8.9%
20年以上	245	44.4%
無回答・無回答	1	0.2%
回答者数	552	100.0%

「20年以上」と回答した方が44.4%と最も高く、次いで「3年未満」が17.0%と続いています。多くの方が寒川町に長く居住されていることがわかります。

(2) 転入前の居住地

問2. 寒川町に転入する前に、あなたが住んでいたまちはどちらですか。

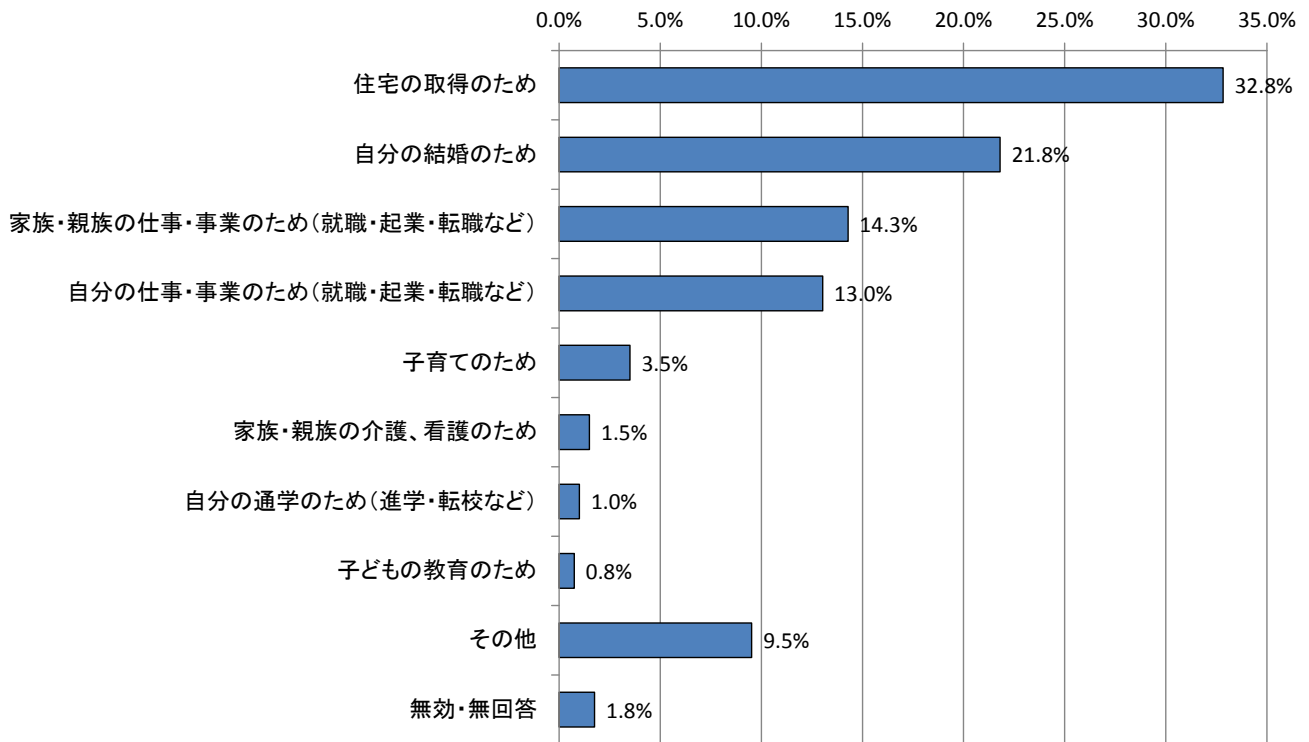


選択肢	回答数	割合
寒川町にずっと住み続けている	150	27.2%
寒川町以外の市区町村から転入した	399	72.3%
無効・無回答	3	0.5%
回答者数	552	100.0%

「寒川町外以外からの市区町村から転入した」と回答した方が72.3%と最も高くなっています。大半の方が寒川町外からの転入者であることがわかります。

(3) 寒川町に転入したきっかけ

【問2-1】問2で「寒川町以外の市区町村から転入した」と回答をした方のみお答えください。寒川町に転入したきっかけについて、1つ選び、○をつけてください。



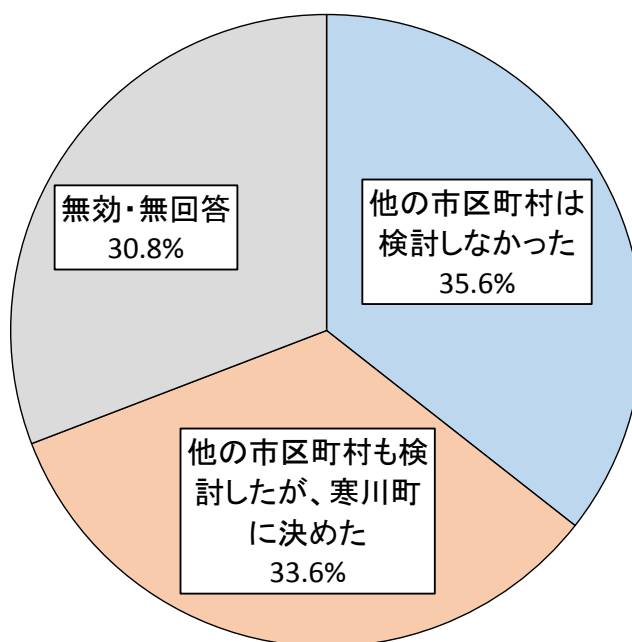
選択肢	回答数	割合
住宅の取得のため	131	32.8%
自分の結婚のため	87	21.8%
家族・親族の仕事・事業のため(就職・起業・転職など)	57	14.3%
自分の仕事・事業のため(就職・起業・転職など)	52	13.0%
子育てのため	14	3.5%
家族・親族の介護、看護のため	6	1.5%
自分の通学のため(進学・転校など)	4	1.0%
子どもの教育のため	3	0.8%
その他	38	9.5%
無効・無回答	7	1.8%
回答者数	399	100.0%

「住宅の取得のため」と回答した方が32.8%と最も高く、次いで「自分の結婚のため」が21.8%と続いています。

住宅の購入や結婚など、人生の節目となるイベントをきっかけに転入している人が多いことがわかります。

(4) 転入の際の他の検討市区町村

【問2-2】問2で「寒川町以外の市区町村から転入した」と回答をした方のみお答えください。転入される際、寒川町以外の市区町村を検討しましたか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

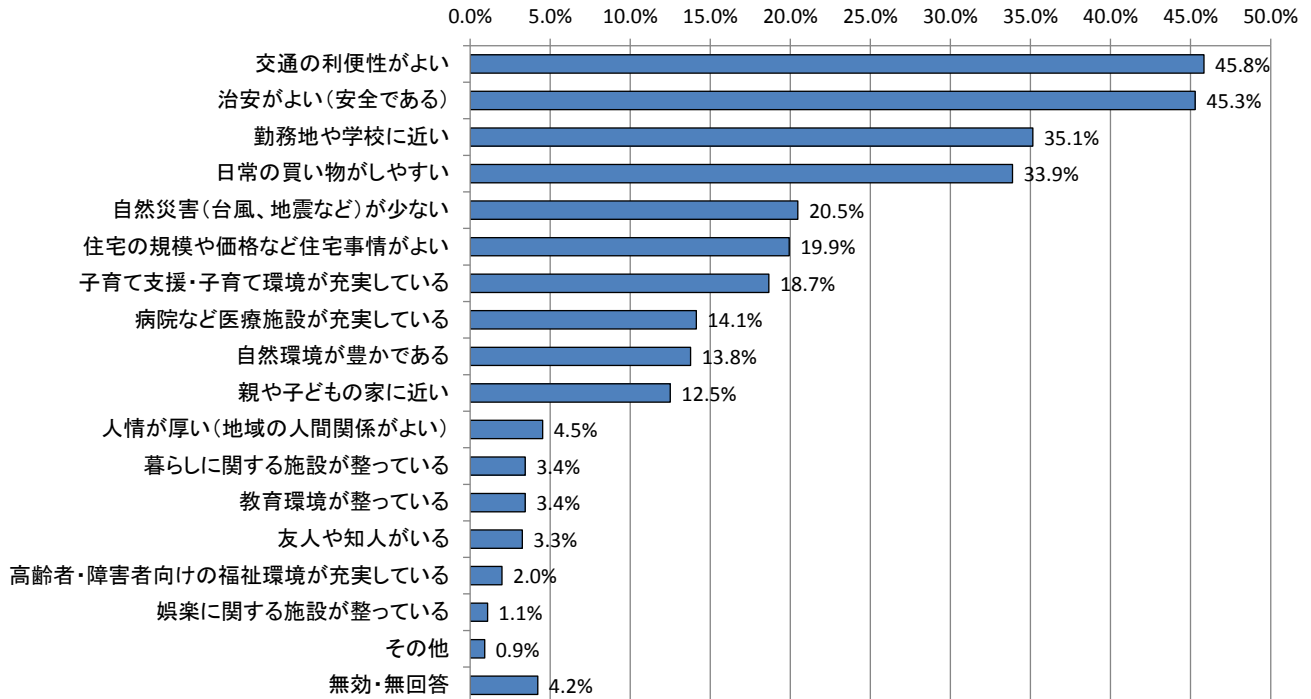


選択肢	回答数	割合
他の市区町村は検討しなかった	142	35.6%
他の市区町村も検討したが、寒川町に決めた	134	33.6%
無効・無回答	123	30.8%
回答者数	399	100.0%

「他の市区町村は検討しなかった」と回答した方 35.6%で最も高くなりましたが、他の市区町村を検討した方もほぼ同水準いることがわかります。

(5) 転居先を決める際に考慮する、重要な環境

問3. もし転居先を決める際、考慮する環境として、重要なものは次のどれですか。
あなたのお考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



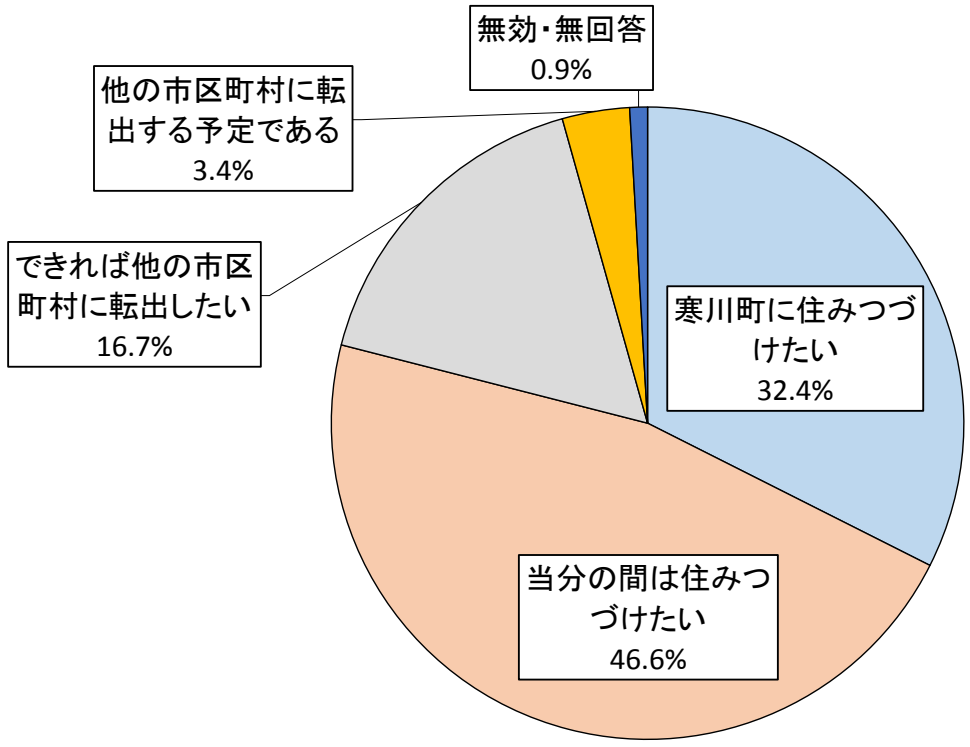
選択肢	回答数	割合
交通の利便性がよい	253	45.8%
治安がよい(安全である)	250	45.3%
勤務地や学校に近い	194	35.1%
日常の買い物がしやすい	187	33.9%
自然災害(台風、地震など)が少ない	113	20.5%
住宅の規模や価格など住宅事情がよい	110	19.9%
子育て支援・子育て環境が充実している	103	18.7%
病院など医療施設が充実している	78	14.1%
自然環境が豊かである	76	13.8%
親や子どもの家に近い	69	12.5%
人情が厚い(地域の人間関係がよい)	25	4.5%
暮らしに関する施設が整っている	19	3.4%
教育環境が整っている	19	3.4%
友人や知人がいる	18	3.3%
高齢者・障害者向けの福祉環境が充実している	11	2.0%
娯楽に関する施設が整っている	6	1.1%
その他	5	0.9%
無効・無回答	23	4.2%
回答者数	552	—

「交通の利便性がよい」と回答した方が45.8%と最も高く、次いで「治安がよい」が45.3%と続いています。

交通の利便性、日常の買物など、日常生活の利便性を重視している事がわかります。

(6) 寒川町の町にこれからも住みつづけたいと思うか

問4. あなたは、寒川町にこれからも住みつづけたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
寒川町に住みつづけたい	179	32.4%
当分の間は住みつづけたい	257	46.6%
できれば他の市区町村に転出したい	92	16.7%
他の市区町村に転出する予定である	19	3.4%
無効・無回答	5	0.9%
回答者数	552	100.0%

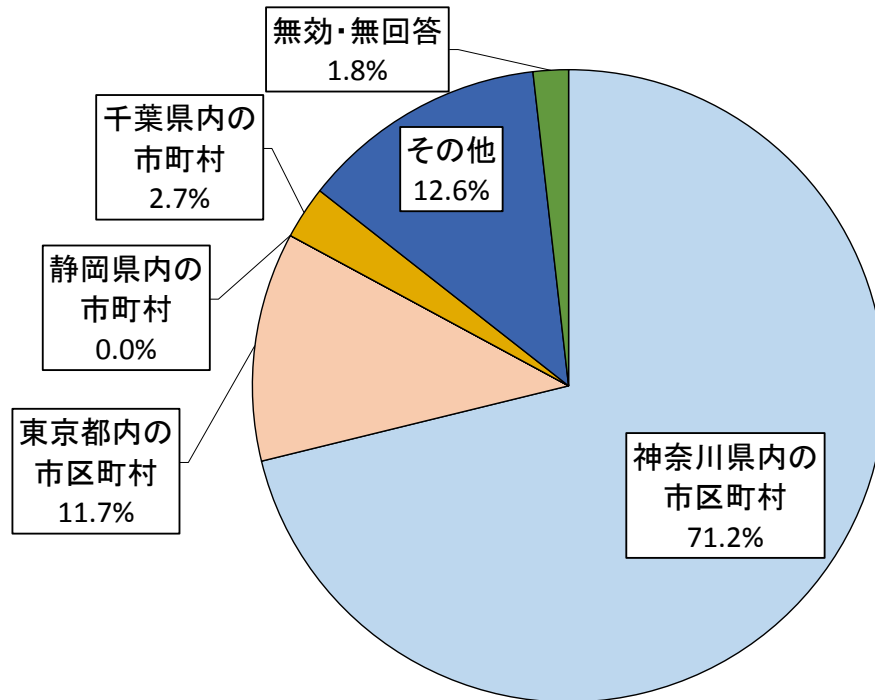
「当分の間は住みつづけたい」と回答した方が 46.6%と最も高く、次いで「寒川町に住みつづけたい」が 32.4%と続いています。

いずれ寒川町を転出すると考えられるかたは、全体の約 6 割に達する事がわかります。

(7) 転出の際の検討市区町村

【問4-1】問4で「できれば他の市区町村に転出したい」及び「他の市区町村に転出する予定である」と回答した方のみお答えください。

転出先は、どの市区町村をお考えですか。1つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
神奈川県の市区町村	79	71.2%
東京都内の市区町村	13	11.7%
静岡県内の市町村	0	0.0%
千葉県内の市町村	3	2.7%
その他	14	12.6%
無効・無回答	2	1.8%
回答者数	111	100.0%

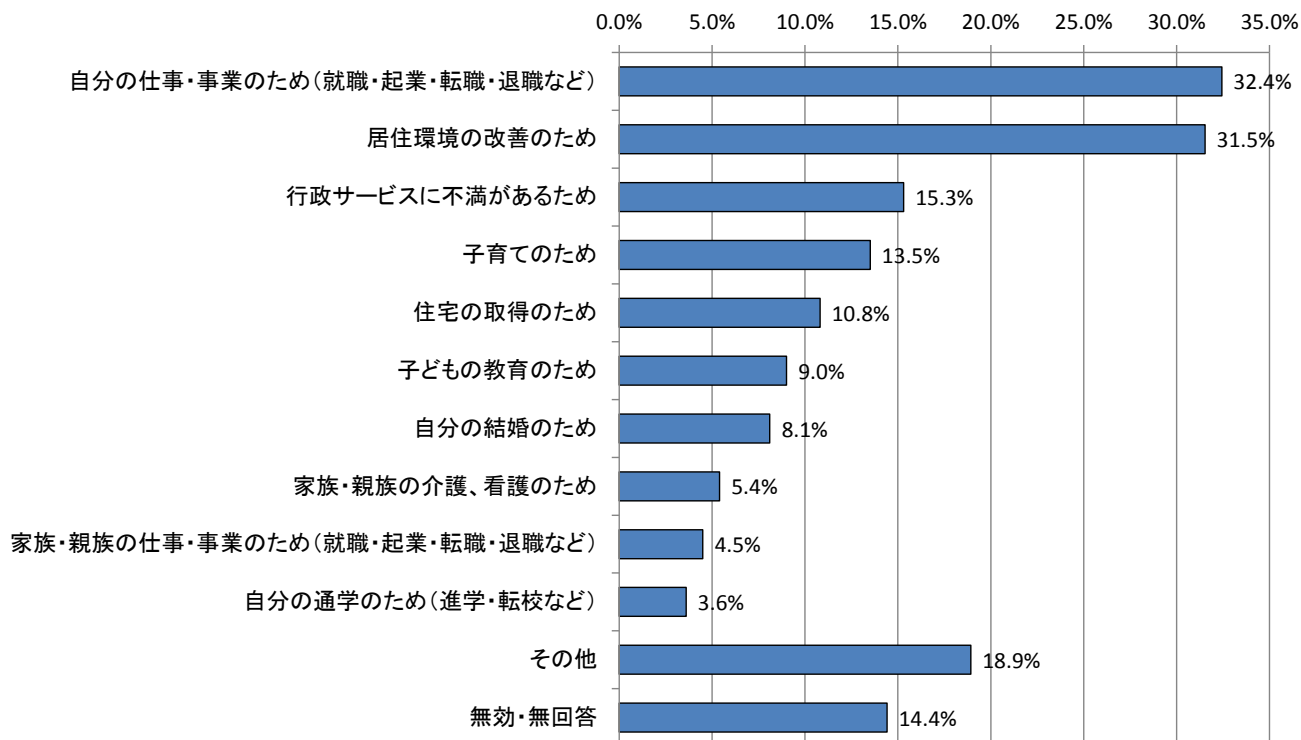
「神奈川県の市区町村」と回答した方が71.2%と最も高く、次いで「東京都内の市区町村」が11.7%と続いています。

大半の方が神奈川県の他市区町村への転出を検討しています。

(8) 転出の理由

【問4-2】問4で「できれば他の市区町村に転出したい」及び「他の市区町村に転出する予定である」と回答した方のみお答えください。

転出する理由として、あてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

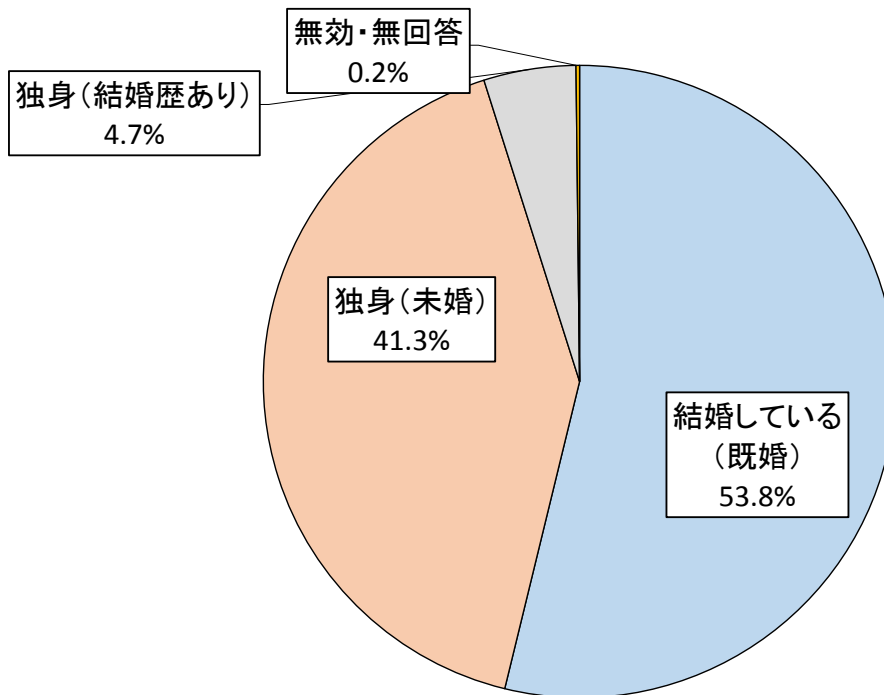


選択肢	回答数	割合
自分の仕事・事業のため(就職・起業・転職・退職など)	36	32.4%
居住環境の改善のため	35	31.5%
行政サービスに不満があるため	17	15.3%
子育てのため	15	13.5%
住宅の取得のため	12	10.8%
子どもの教育のため	10	9.0%
自分の結婚のため	9	8.1%
家族・親族の介護、看護のため	6	5.4%
家族・親族の仕事・事業のため(就職・起業・転職・退職など)	5	4.5%
自分の通学のため(進学・転校など)	4	3.6%
その他	21	18.9%
無効・無回答	16	14.4%
回答者数	111	—

「自分の仕事・事業のため(就職・起業・転職・退職など)」と回答した方が32.4%と最も高く、次いで「居住環境の改善のため」が31.5%と続いています。

(9) 現在、結婚しているか

問5. あなたは、現在結婚していますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

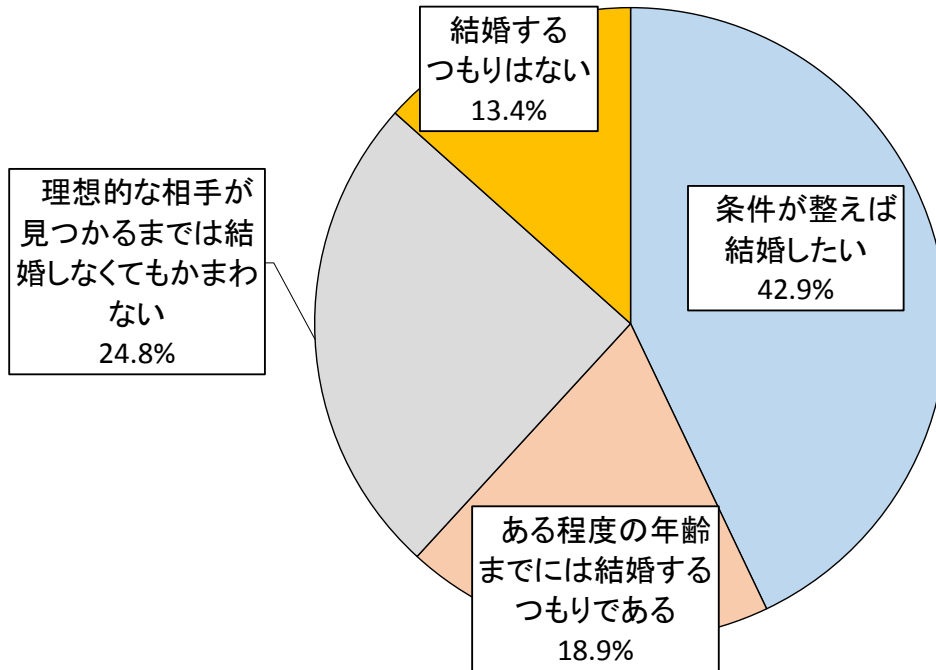


選択肢	回答数	割合
結婚している (既婚)	297	53.8%
独身 (未婚)	228	41.3%
独身 (結婚歴あり)	26	4.7%
無効・無回答	1	0.2%
回答者数	552	100.0%

「結婚している」方が53.8%で最も高くなりましたが、既婚者と未婚者の割合はほぼ半数ずつとなっています。

(10) 結婚に関する考え

【問5-1】 問5で「独身（未婚）」及び「独身（結婚歴あり）」と回答した方のみお答えください。結婚に関するあなたのお考えに近いものを1つ選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
条件が整えば結婚したい	109	42.9%
ある程度の年齢までには結婚するつもりである	48	18.9%
理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	63	24.8%
結婚するつもりはない	34	13.4%
回答者数	254	100.0%

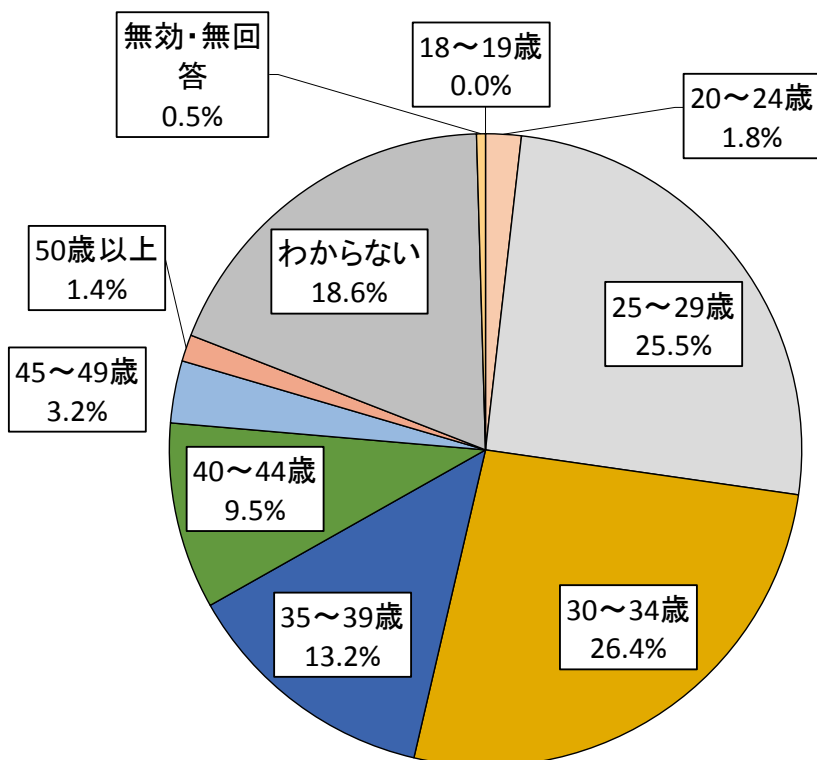
「条件が整えば結婚したい」と回答した方が 42.9%と最も高く、次いで「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が 24.8%と続いています。

積極的に結婚したいと考えている人は、全体の約 6 割に達しています。

(11) 何歳ぐらいまでに結婚したいか

【問5-1-1】 問5-1で「条件が整えば結婚したい」、「ある程度の年齢までには結婚するつもりである」、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と回答した方のみお答えください。

何歳ぐらいまでに結婚したいですか。あなたの考えに近いものを1つ選び、○をつけてください。

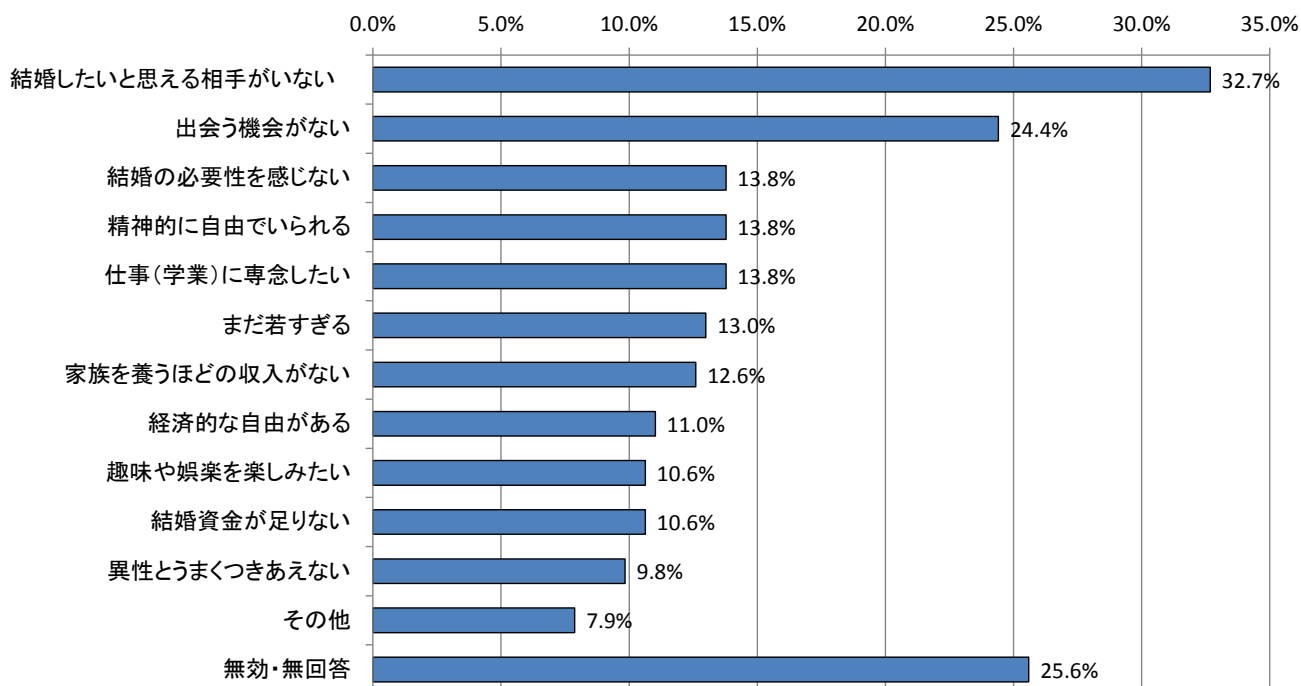


選択肢	回答数	割合
18~19歳	0	0.0%
20~24歳	4	1.8%
25~29歳	56	25.5%
30~34歳	58	26.4%
35~39歳	29	13.2%
40~44歳	21	9.5%
45~49歳	7	3.2%
50歳以上	3	1.4%
わからない	41	18.6%
無効・無回答	1	0.5%
回答者数	220	100.0%

「30~34歳」と回答した方が26.4%と最も高く、次いで「25~29歳」が25.5%と続いています。30歳までに結婚したいと考えている方が最も多いことがわかります。

(12) 現在結婚していない理由

【問5-2】 問5で「独身（未婚）」及び「独身（結婚歴あり）」と回答した方のみお答えください。現在結婚していない理由としてあなたのお考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



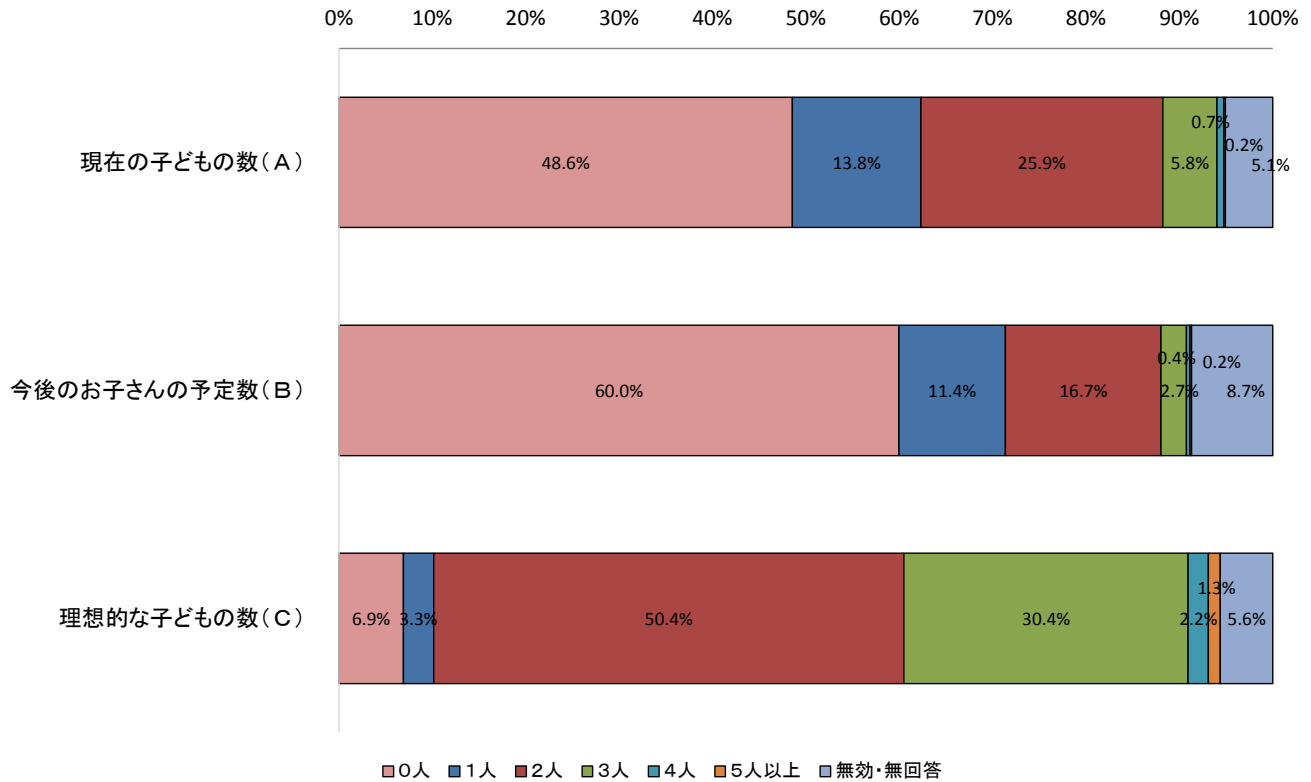
選択肢	回答数	割合
結婚したいと思える相手がいない	83	32.7%
出会う機会がない	62	24.4%
結婚の必要性を感じない	35	13.8%
精神的に自由でいられる	35	13.8%
仕事(学業)に専念したい	35	13.8%
まだ若すぎる	33	13.0%
家族を養うほどの収入がない	32	12.6%
経済的な自由がある	28	11.0%
趣味や娯楽を楽しみたい	27	10.6%
結婚資金が足りない	27	10.6%
異性とうまくつきあえない	25	9.8%
その他	20	7.9%
無効・無回答	65	25.6%
回答者数	254	—

「結婚したいと思える相手がいない」と回答した方が32.7%で最も高く、次いで「出会う機会がない」が24.4%と続いています。

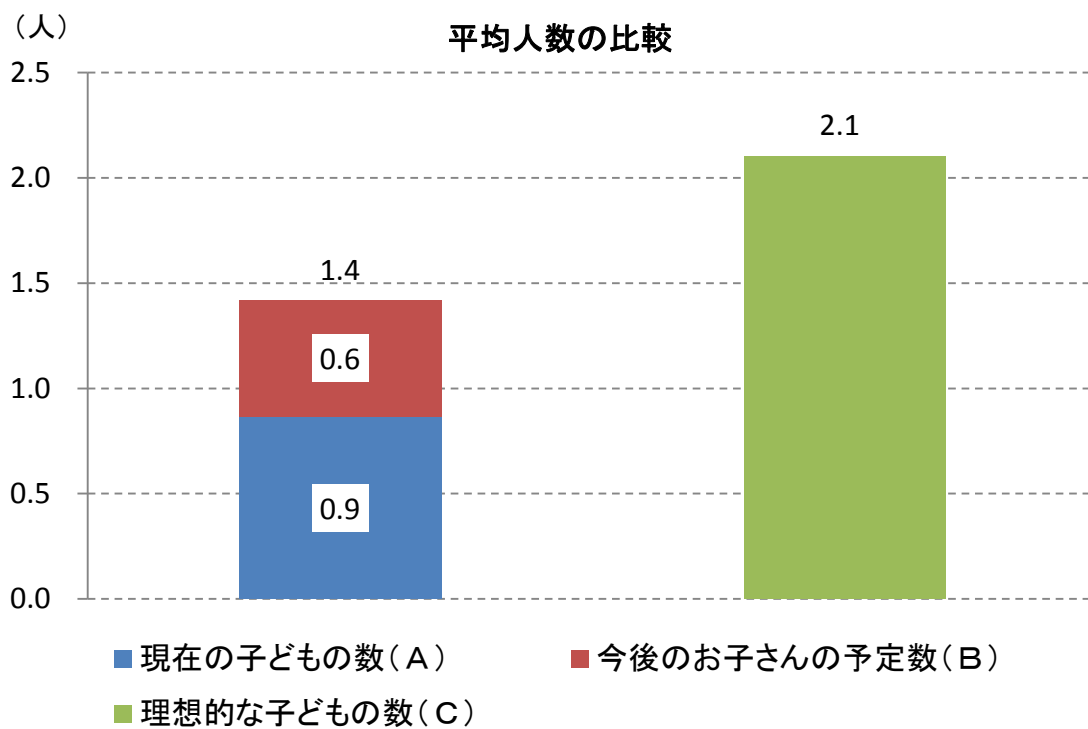
結婚していない理由として相手がいない、相手と出会う機会がないことが主な要因としてあげられています。

(13) 現在の子どもの数、今後の子どもの予定数、理想的な子どもの数

問6. あなたにとって、現在のお子さんの数、今後のお子さんの予定数、理想的な子どもの数について、それぞれ1つ選び、○をつけてください。



	現在の子どもの数 (A)		今後のお子さんの予定数 (B)		理想的な子どもの数 (C)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0人	268	48.6%	331	60.0%	38	6.9%
1人	76	13.8%	63	11.4%	18	3.3%
2人	143	25.9%	92	16.7%	278	50.4%
3人	32	5.8%	15	2.7%	168	30.4%
4人	4	0.7%	2	0.4%	12	2.2%
5人以上	1	0.2%	1	0.2%	7	1.3%
無効・無回答	28	5.1%	48	8.7%	31	5.6%
回答者数	552	100.0%	552	100.0%	552	100.0%



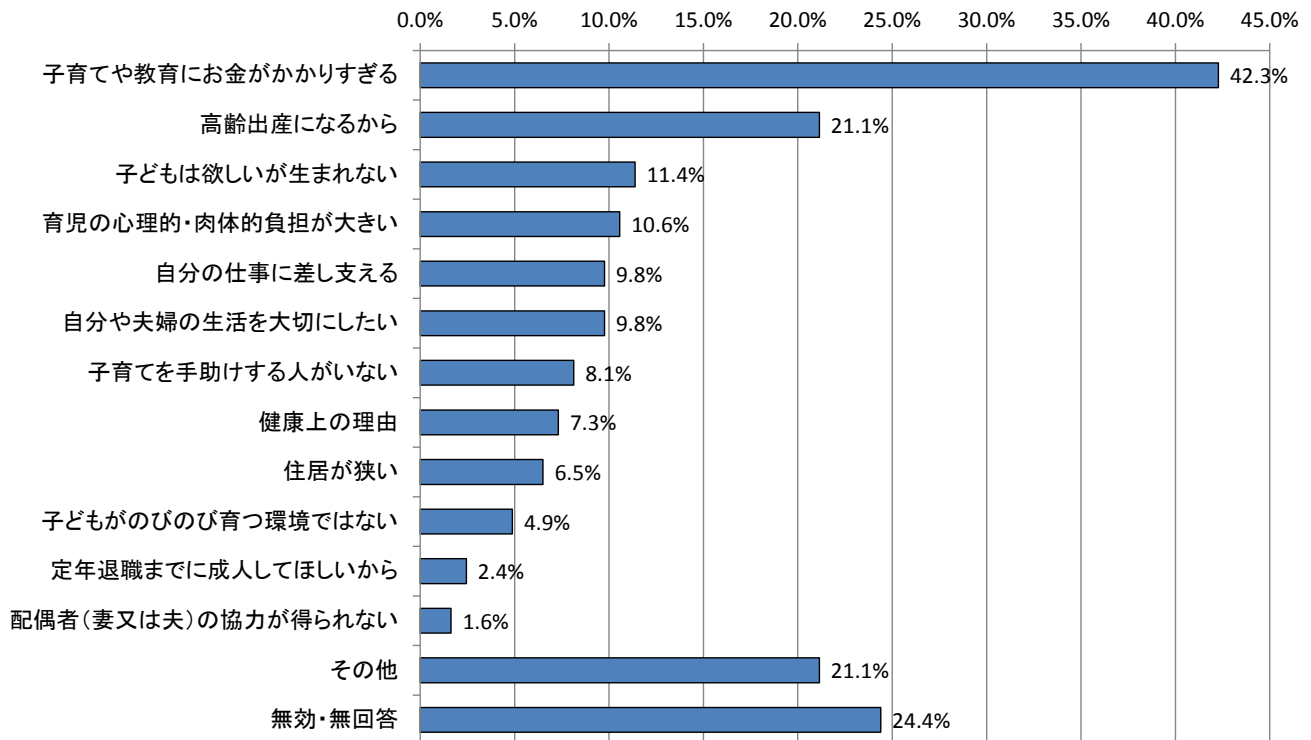
	現在の子どもの数 (A)	今後のお子さんの 予定数 (B)	理想的な子どもの数 (C)
平均人数	0.9	0.6	2.1

理想的な子どもの数が「2.1人」であるのに対し、「現在の子どもの数」及び「今後のお子さんの数」の合計が「1.4人」となっており、約0.6人の乖離があることがわかります。

(14) もっと子どもが欲しい理由

【問6-1】問6で、「現在の子どもの数(A)」と「今後のお子さんの予定数(B)」を足した数が、「理想的な子どもの数(C)」より少ない方(もっと子どもが欲しい方)だけにお聞きします。

(A+BがCより少ない場合 例:A1人、B1人、C3人 の場合など)
その理由について、あなたの考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



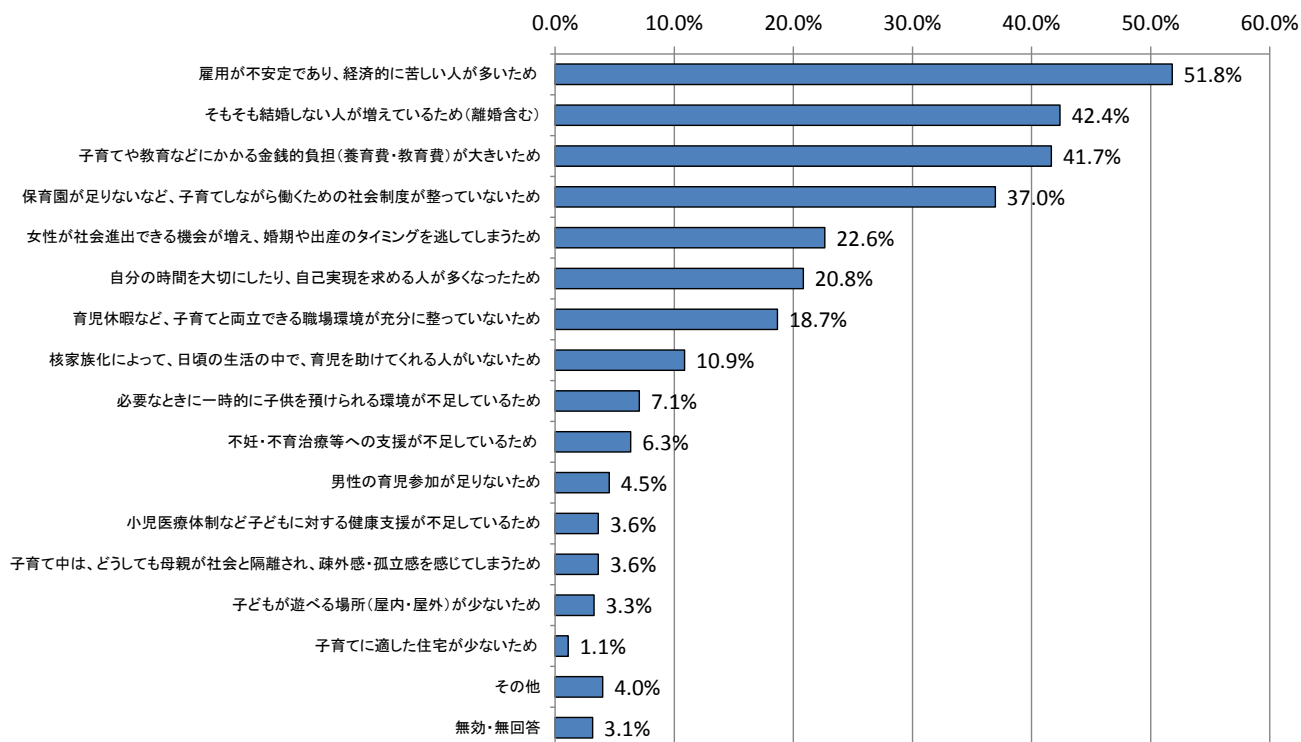
選択肢	回答数	割合
子育てや教育にお金がかかりすぎる	52	42.3%
高齢出産になるから	26	21.1%
子どもは欲しいが生まれない	14	11.4%
育児の心理的・肉体的負担が大きい	13	10.6%
自分の仕事に差し支える	12	9.8%
自分や夫婦の生活を大切にしたい	12	9.8%
子育てを手助けする人がいない	10	8.1%
健康上の理由	9	7.3%
住居が狭い	8	6.5%
子どもがのびのび育つ環境ではない	6	4.9%
定年退職までに成人してほしいから	3	2.4%
配偶者(妻又は夫)の協力が得られない	2	1.6%
その他	26	21.1%
無効・無回答	30	24.4%
回答者数	123	—

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答した方が42.3%と最も高く、次いで「高齢出産になるから」が21.1%と続いています。

理想的な子どもの数と現実との乖離には、経済的な不安があることが主な要因と考えられます。

(15) 出生率が低下している主な要因

問7. 出生率が低下している主な要因は何だと思いますか。
あなたの考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



選択肢	回答数	割合
雇用が不安定であり、経済的に苦しい人が多いため	286	51.8%
そもそも結婚しない人が増えているため(離婚含む)	234	42.4%
子育てや教育などにかかる金銭的負担(養育費・教育費)が大きいため	230	41.7%
保育園が足りないなど、子育てしながら働くための社会制度が整っていないため	204	37.0%
女性が社会進出できる機会が増え、婚期や出産のタイミングを逃してしまうため	125	22.6%
自分の時間を大切にしたり、自己実現を求める人が多くなったため	115	20.8%
育児休暇など、子育てと両立できる職場環境が十分に整っていないため	103	18.7%
核家族化によって、日頃の生活の中で、育児を助けてくれる人がいないため	60	10.9%
必要ときに一時的に子供を預けられる環境が不足しているため	39	7.1%
不妊・不育治療等への支援が不足しているため	35	6.3%
男性の育児参加が足りないため	25	4.5%
小児医療体制など子どもに対する健康支援が不足しているため	20	3.6%
子育て中は、どうしても母親が社会と隔離され、疎外感・孤立感を感じてしまうため	20	3.6%
子どもが遊べる場所(屋内・屋外)が少ないため	18	3.3%
子育てに適した住宅が少ないため	6	1.1%
その他	22	4.0%
無効・無回答	17	3.1%
回答者数	552	—

「雇用が不安定であり、経済的に苦しい人が多いため」と回答した方が51.8%と最も高く、次いで「そもそも結婚しない人が増えているため(離婚含む)」が42.4%と続いています。

多くの町民が、雇用面や収入面に不安があることが出産に消極的になっている主な要因であると考えていることがわかります。

第4 自由意見のまとめ

自由記入欄への記載事項については、「寒川町総合計画 さむかわ 2020 プラン後期基本計画」の体系に基づき、以下のように整理しました。

今後、本町が策定する「寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連して、より子どもを
 生み育てやすくなるようなアイデアや寒川町に人を呼び込むためのアイデアなどのご意見
 などがありましたら自由にお書き下さい。

章	節	回答数	割合
快適でにぎわいのあるまちづくり	連携を考えた交通環境の整備を進めます	60	29.3%
	快適な生活環境の整備を進めます	21	10.2%
	魅力ある市街地の整備を進めます	18	8.8%
環境と共生したうるおいあるまちづくり	水とみどりの保全と活用を進めます	4	2.0%
	環境にやさしいまちづくりを進めます	7	3.4%
安心して生きがいのあるまちづくり	明るくいきがいのある健康づくりを進めます	12	0
	心のかよいあう福祉を充実します	85	0
	安心して暮らせるまちづくりを充実します	14	0
豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	ふれあいのある生涯学習を充実します	8	0
	豊かな心をはぐくむ教育を進めます	19	0
	地域の文化活動を進めます	18	0
魅力ある産業と活力あるまちづくり	まちの特性を生かしたふるさとの創造を図ります	45	0
その他	その他	11	0
回答者数		205	—

第Ⅱ部 窓口アンケート調査 (転入者・転出者向け)

第Ⅱ部 窓口アンケート調査

第1 調査の概要

(1) 調査の目的

寒川町に転入した人、寒川町から他市区町村へ転出した人を対象に、転入・転出をする理由やきっかけをうかがい、寒川町への定住促進のためのニーズを掘り起こす事を目的としています。

(2) 調査対象・抽出方法

調査対象：

- ・寒川町へ転入する方
- ・寒川町から他市区町村へ転出する方

(3) 調査内容

寒川町へ転入・転出する理由やきっかけ、居住地として考慮する条件についてうかがいました。

(4) 調査方法、調査期間

- ① 調査方法：引越しの手続きの際に窓口でアンケートを配布
- ② 調査期間：平成27年6月下旬～7月中旬

(5) 回収結果

転入者向け：42世帯

転出者向け：53世帯

(5) 留意点

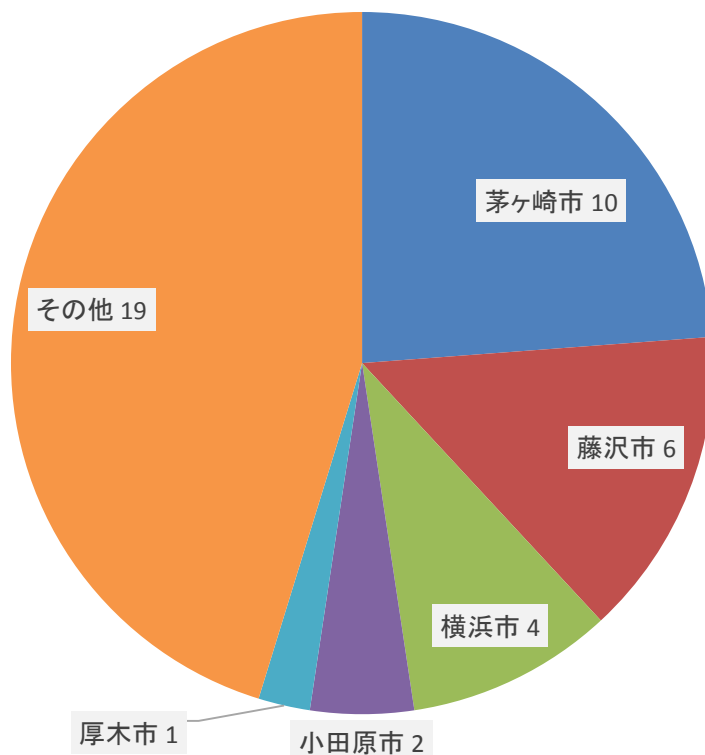
- ① 結果は回答者数で表示しました。
- ② 二重回答や判読不能の回答などは、無効としています。

第2 調査結果

1. 転入者向けアンケート概要

(1) 転入前住所

今回、転入前に居住していた住所地を教えてください



「茅ヶ崎市」が10人（23.8%）、「藤沢市」が6人（14.3%）でした。

（その他の主な内容）

伊勢原市（1名）・海老名市（1名）・秦野市（1名）・平塚市（1名）・相模原市（1名）

東京都（北区・足立区・町田市 各1名）

千葉県（四街道市・野田市 各1名）

群馬県（館林市 1名）

新潟県（上越市 1名）

宮城県（多賀城市 1名）

愛知県（豊田市 1名）

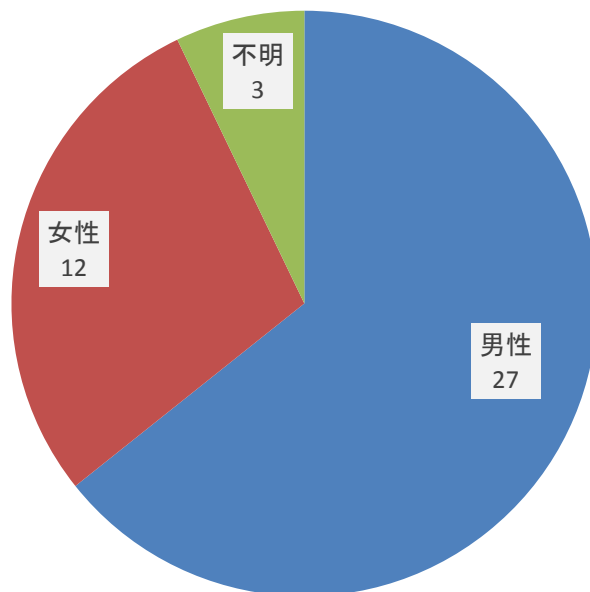
岡山県（倉敷市 1名）

広島県（広島市 1名）

福岡県（吉富市 1名）

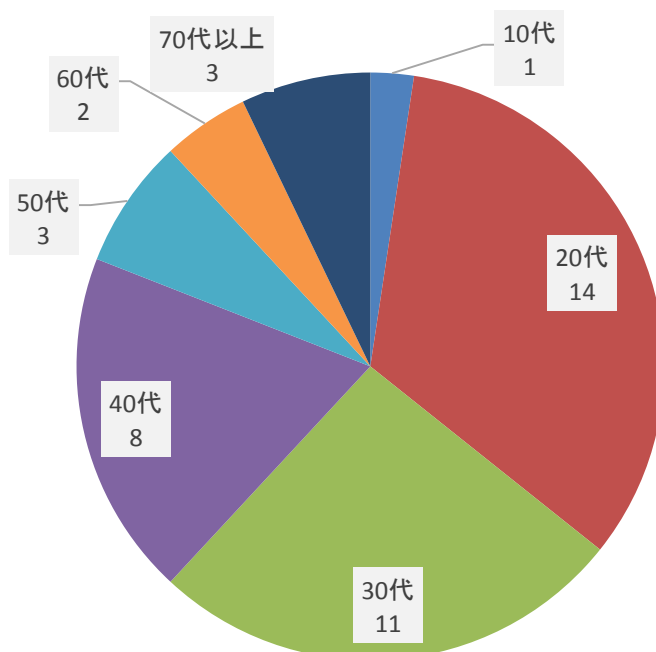
(2) 転入者属性

① 性別



「男性」が27人(64.3%)、「女性」が12人(28.6%)でした。
相対的に男性の方が多い結果となりました。

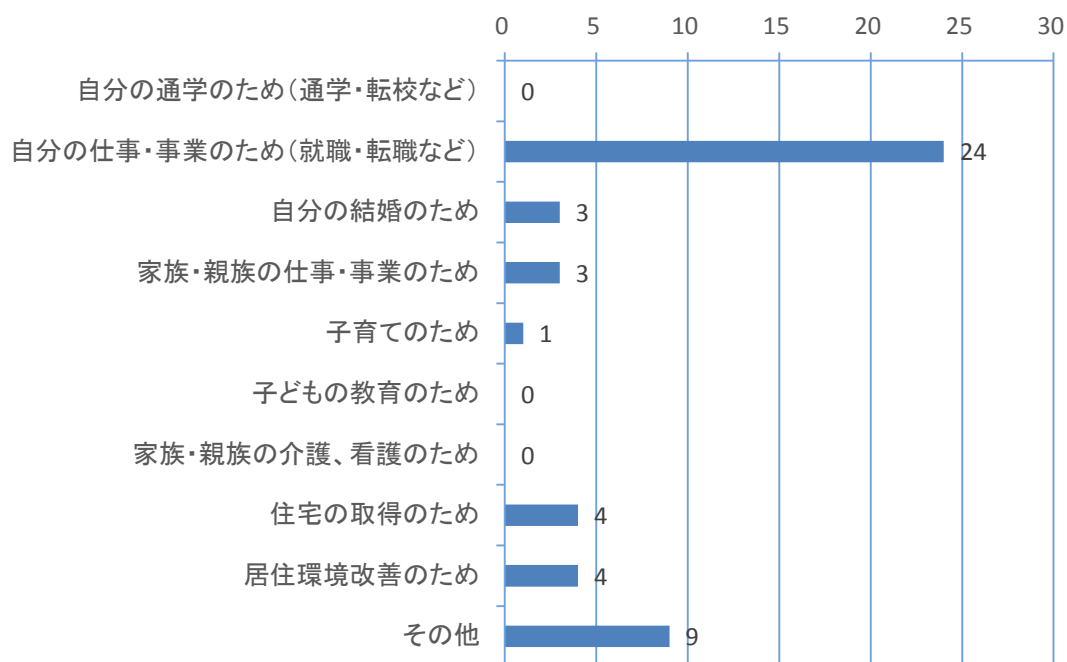
② 年齢



「20代」が14人(33.3%)、「30代」が11人(26.2%)でした。

(3) 転入理由

寒川町に転入される理由(きっかけ)を教えてください(3つまで複数回答可)



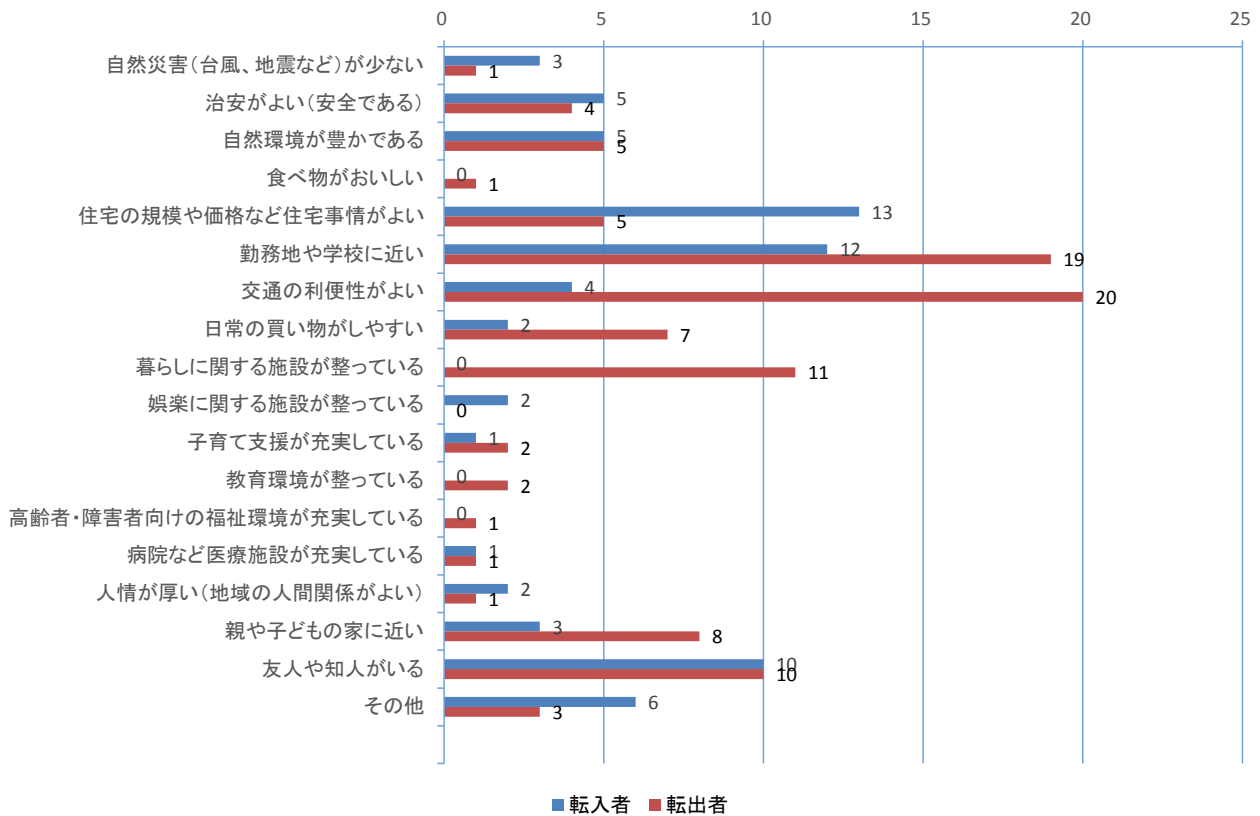
「自分の仕事・事業のため(就職・転職など)」が24件(57.1%)と最も多く、次いで、「その他」9件(21.4%)となりました。仕事のためという理由が過半数を占めました。

(その他の主な内容)

- ・茅ヶ崎に近い所で条件に合った物件があったため
- ・夫の海外赴任のため
- ・賃貸がよかった。
- ・同棲のため
- ・養護老人ホーム入所
- ・知り合いがいるので
- ・施設入居のため
- ・離婚

(4) 転入・転出時に考慮した環境

寒川町を居住地として決めるにあたり、考慮した環境は次のどれですか。(3つまで複数回答可)



【転入者向け】

「住宅の規模や価格など住宅事情がよい」が13件(31.0%)で最も高く、次いで「勤務地や学校に近い」が12件(28.6%)でした。

(その他の主な内容)

- ・実家があるので
- ・寒川神社の近くに住めるから。
- ・祖父母の家が寒川の為
- ・施設入居のため
- ・社宅があるから

【転出者向け】

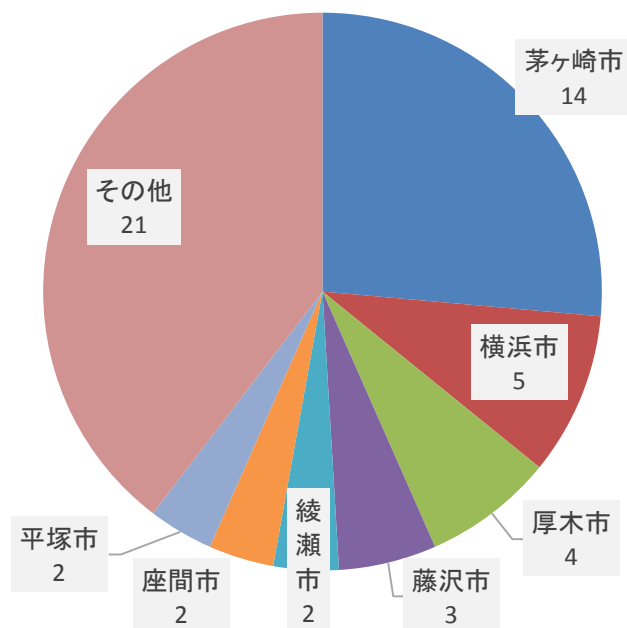
「交通の利便性がよい」が20件(37.7%)で最も高く、次いで「勤務地や学校に近い」が19件(35.8%)でした。

(その他の主な内容)

- ・家内の実家が近い
- ・姉が同居のため

2. 転出者向けアンケート概要

(1) 転出先住所



「茅ヶ崎市」に転出する人が14人(26.4%)、次いで「横浜市」が5名(9.4%)でした。

(その他の主な内容)

綾瀬市(1名)・座間市(1名)・平塚市(1名)・海老名市(1名)・相模原市(1名)

東京都(世田谷区・江東区・渋谷区・西東京市・日野市 各1名)

埼玉県(新座市・戸田市 各1名)

千葉県(柏市 1名)

北海道(苫小牧市 1名)

秋田県(住吉町 1名)

新潟県(新発田市 1名)

福井県(坂井市 1名)

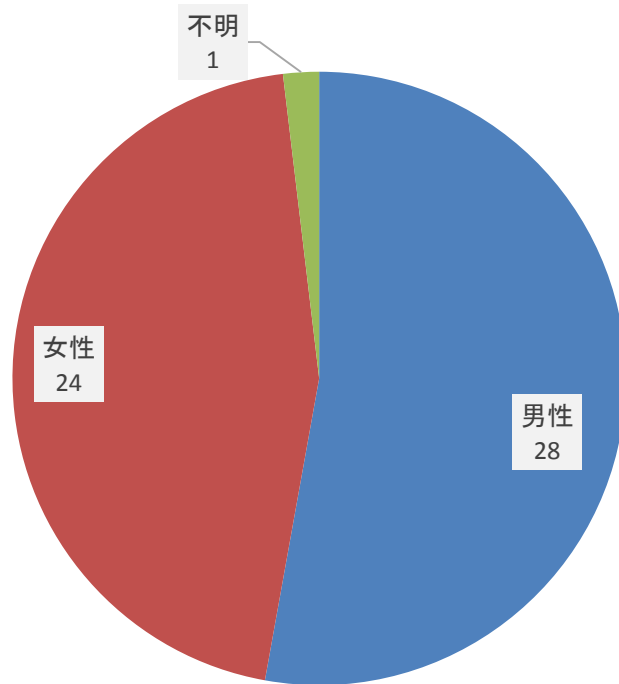
岐阜県(岐阜市 1名)

熊本県(八代市 1名)

鹿児島県(枕崎市 1名)

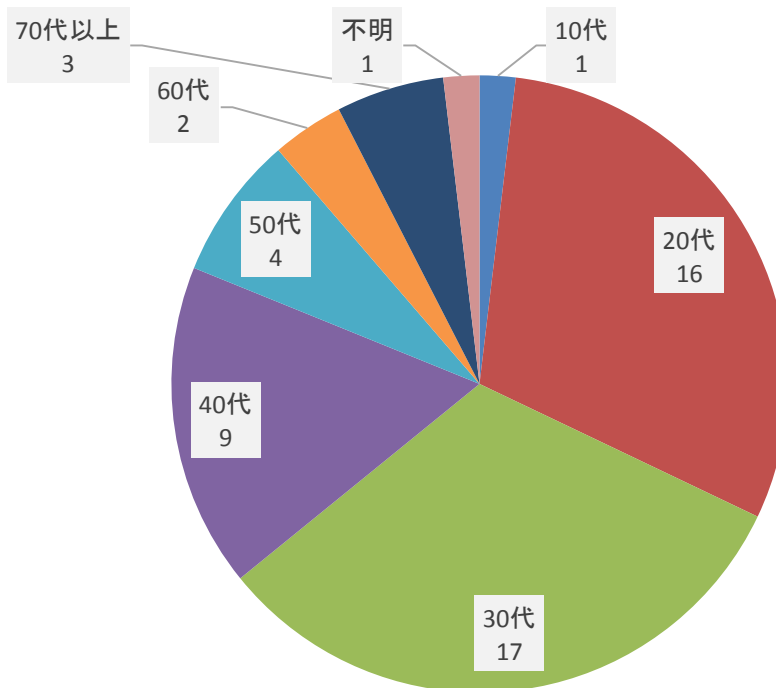
(2) 転出者属性

① 性別



「男性」が28人(52.8%)、「女性」が24人(45.3%)となり、やや男性が多い結果となりました。

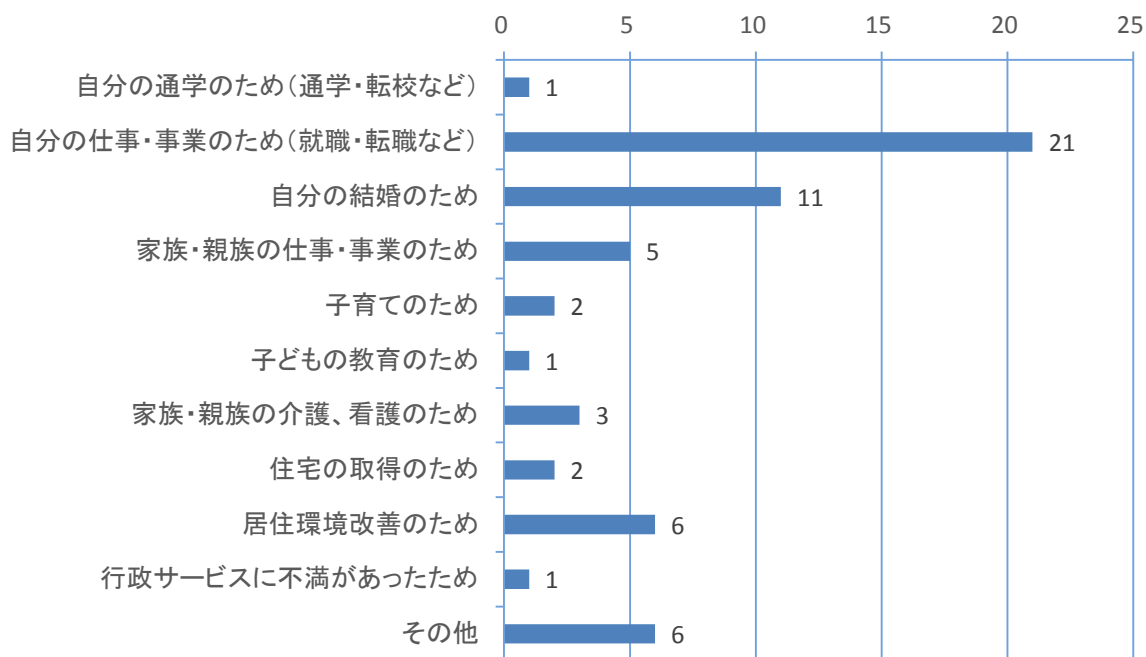
② 年齢



「30代」が17人(32.1%)で最も高く、次いで「20代」が16人(30.2%)でした。

(3) 転出理由

寒川町を転出される理由を教えてください(3つまで複数回答可)



「自分の仕事・事業のため(就職・転職など)」が21件(39.6%)で最も高く、次いで「自分の結婚のため」が11件(20.8%)でした。

(その他の主な内容)

- ・家の売却
- ・通勤のため
- ・離婚前の別居
- ・離婚のため
- ・主人が亡くなり娘の世話になります。
- ・老人ホーム